



# まえはようちえんだより

## 第1学期を終えて

令和3年7月20日  
小田原市立前羽幼稚園  
園長 越川 知香子

梅雨が明け、夏の眩しい太陽に幼稚園の前の海もキラキラと輝いています。子どもたちは、梅雨の時期でも、晴れ間を見計らい、水着に着替えてシャワー遊びをしたり、ビーチサンダルになって砂遊びをしたりして、この時期ならではの遊びを十分に楽しみました。

世の中の動きとしては、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種も少しずつ進んでいますが、まだまだ、気の抜けない状態が続いております。令和3年度のスタート時点は、最大限の感染症対策をしながら“学びは止めない”という思いで子どもたちの学びの機会を保障し、幼稚園の教育活動を進めてまいりました。昨年は経験することができなかった経験も、“どのようにしたら実現できるのか”と知恵を絞り、桜の塩漬づくりや和太鼓遊び、サッカー教室、親子遠足などを実施することができました。年長児は本来、それらのことを1年間（1度）経験してからの2年目（2回目）となるのですが、年長児も初めての経験のため、少々緊張気味でしたが期待を膨らませ、経験することができました。年少児も一緒に参加できるように、発達段階に合わせて、無理のない範囲で楽しく同じ時間を共有しました。

合同保育を進める中では、活動の内容によって発達の違いを考慮した関わりを進めてきましたが、それ以上に異年齢の関わりの“よさ”を感じることも多くありました。年少児は、友達や年長児の名前を覚え、名前を呼びながら一緒に遊んだり、あこがれの気持ちをもって関わったりし、年長児は、年少児の見本となることで、年長児としての自覚がさらに芽生え、自信につながっている姿が見られたりしました。

一つ一つの経験を積み重ねながら、子どもたちの心も体も大きく育ってきていることをとても嬉しく感じます。



幼児教育において  
育みたい資質・能力  
『生きる力』の  
基礎となるもの

幼児教育において育てたい“3つの柱”

遊びや生活を通して育んでいきます

「知識及び技能の基礎」

- ・感じる・気付く・分かる
- ・できるようになる・取り入れる など

「思考力・判断力・表現力等の基礎」

- ・考える・工夫する・表現する
- ・見通しをもつ・振り返る
- ・役立てる・活用する など

「学びに向かう力・人間性等」

- ・意欲をもつ・粘り強く取り組む
- ・やり遂げる・自己調整する
- ・自分の考えをよりよいものにする
- ・折り合いを付ける など

前羽幼稚園では、  
【目指す子ども像】として  
3つの姿の育成に努めています。

＜幼稚園教育目標＞  
心豊かでたくましい子どもの育成

【夢中になって遊べる子ども】

- \*自分から進んで遊ぶ
- \*友達と元気よく遊ぶ
- \*根気強く最後まで取り組む
- \*考えを実現させる

【思いやりと  
協調性のある子ども】

- \*友達と仲良く助け合う
- \*いろいろな人や物と関わる
- \*決まりを守り協力し合う
- \*生命のあるものを大切に  
する

【よく考える子ども】

- \*身近なものに興味や関心をもつ
- \*話をしっかりと聞く
- \*考えたこと感じたことを表現する
- \*試したり工夫したりする



## 第1学期の思い出



### < 入園式 >

4月7日、令和3年度の入園式を行いました。前羽幼稚園恒例の“年長児も一緒に祝いしよう！”の参加型。幼稚園の歌を歌ってあげたり、素敵なペンダントの贈り物を首にかけてあげたりしました。年少さんは、とても嬉しそうに明日からの幼稚園生活に**大きな期待**をもてたようでした。



### < なかよし会 >

昨年度末から、新しい年少さんに向けて準備を少しずつ始めていた年長児。会の内容も自分たちで話し合い**「年少さんのために頑張ろう！」**と。歌や踊りを披露したり、一緒に園内を案内してくれたり、7人の力が一つになり、**一致団結**して会を進めてくれました。一人一人に**年長児としての自覚**が見られました。



### < 親子遠足 >

“公共交通機関を使わずに、地域のよさに触れたい！”と親子で歩いて“羽根尾史跡公園”に遠足に行きました。**感染予防・安全対策**を講じて実施しました。初めて訪れる保護者が多く、親子ウォークラリーでは、史跡公園に咲いている草花や“横穴墓”など**地域の自然や文化**に触れ、親子の楽しい思い出になりました。



### < 英語で遊ぼう >

今年度のALTはイギリス人の“ジェームズ”さん。とても**期待を膨らませ**て全員で出迎えをしました。「グッドモーニング！」と挨拶をすると「可愛い！」と温かい眼差しで受け答えをしてくれました。上手なイラスト付きの自己紹介に子どもたちは一気にジェームズ先生が大好きに。**楽しい歌や踊りで英語に親しみ**ました。



### < 開園69周年記念日 >

6月16日は**69回目の開園記念日**でした。「今日は幼稚園の69回目の誕生日です。」と話す「69歳？」と何だかびんこない様子がありました。幼稚園の生まれた69年前は、今の元号である令和から昭和まで遡り、長い月日があることを話す、とても**興味をもって話を聞く**姿がありました。また、用務員の市川さんが69年前のことを知っていて、小学校の中庭の一角にあったことなどを話してもらった、印刷しておいた写真を食い入るように見ていたり、子どもたちからの質問に市川さんに答えてもらったりしました。**長い歴史**の中で多くの卒園児を送り出し、地域の皆様に**大切にされながら存続**してきたことを思うと感慨深いです。**幼稚園の歴史に興味関心**をもち、さらに**幼稚園に愛着をもつ機会**となりました。



### < タマネギ染め >

収穫したタマネギを家庭でどのように食べたのかアンケートを取らせてもらい、**子どもたちと伝え**合いました。同時にタマネギの皮を水に漬けておくと「色が出てきた！」と**不思議体験**をした後、「白布を漬けておくと色が変わる？」と**試**してみました。数日後、「あ～オレンジ色になってる！」「ウインナーの匂い！」と**大発見**をした子どもたち。染まった布を干して乾かした後、**七夕飾り**にして、笹竹に飾りました。



### < 七夕集会 >

地域の**椎野さん**にいただいた笹竹に今年もいろいろな飾りを作って飾りました。今年は**タマネギ染め**の飾り（発達に合わせた飾り）が仲間入り。七夕集会の時間にちょうど晴れ間が出ると、「今日は織姫様と彦星様が会えるね！」とブラックシアターで**七夕の由来**を見た子どもたちが嬉しそうに話している姿が印象的でした。みんなの願いが届きますように！



### < 海岸遊び >

“前羽幼稚園ならではの遊び”。海岸に行き、砂遊びや、石集めをしたりして楽しみました。**色・形・大きさ**に興味をもって**比べる**姿があり、自分で選んだお気に入りの石を一つだけ拾ってきて、マジックで思い思いの絵を描きました。一人一人が、**イメージを膨らませ**ながら思い思いに、とても味のある素敵な絵を描く姿がありました。



## 地域の皆様に支えられて



### < 桜の塩漬 >

幼稚園の八重桜が満開の頃に椎野食品さんに桜の塩漬を教えてもらいました。子どもたちは園庭の桜がどのように変化するのか興味津々でした。《工程》①桜の額を丁寧に取り梅酢に漬ける。②翌日新しい梅酢に漬け替える。③漬けていた桜を絞り塩を混ぜながらほぐし袋に入れ冷蔵庫で1か月ほど寝かせる。完成した物は地域に配ったり少量ずつ持ち帰ったりする予定です。地域よさに触れる豊かな経験ができました。



### < 和太鼓 >

「小田原ばやし向原保存会」の皆様にと太鼓を教えてもらっています。子どもたちは、和太鼓にとっても興味を示し、まずは思う存分叩いて触れ合いました。バチの持ち方やリズムがあることを教えてもらい、ゆっくりと叩くうちにコツを掴み、同じリズムの繰り返しを体で覚えていきました。楽しみながら地域の文化に触れています。



### < サッカー教室 >

月に1回のサッカー教室を復活しました。子どもたちはとても意欲的にコーチの話を聞き、ウォーミングアップをしたり、ボールタッチやミニゲームなどをしたりして楽しんでいます。意識的に多様な動きを取り入れて、無理なく楽しく体を動かすことをねらいとして行っています。



### < タマネギ・ジャガイモ収穫 >

今年は、わくわく畑で収穫したジャガイモとげんき畑のジャガイモが豊作でした。小野澤さんが耕運機で土をサラサラにし栄養を与えてくれたり、足立さんが日頃から畑を通る度に見守ってくれていたり、子どもたちが繰り返し、畑まで通い、愛情を込めて水をあげたり、雑草取りをしたりしてきたことが、豊作という大きな喜びになりました。園で食することはできませんでしたが、家庭でどのように料理をして食べたのかアンケートに答えてもらうと、「〇〇が採って来たジャガイモ美味しい〜!」「ポテトサラダを一緒につくったよ!」など自分で栽培した野菜の味は格別だったようで、豊かな経験と食育になりました。

### < ホウネンエビの訪問 >

卒園児のおじいちゃん（北村さん）が、頻りに珍しい生き物を連れて来てくれます。「ホウネンエビ」という小さなエビを持って来てくれました。観察し飼育を試みましたが、環境が難しく、元の場所に返してもらいました。様々な生き物を見て感じて学べる機会に感謝いたします。

## 安全教育



### < 幼年消防クラブ（お絵かき会） >

火災予防の取り組みとして小田原市消防より“幼年消防クラブ”に任命されます。消防士さんが、消防車の仕組みや役割、付属しているいろいろな道具の説明をしてくれることで興味関心をもち、細かいところまで見て、気付いて消防車を描く姿がありました。このような機会から幼少期から火災の教育をしています。



### < 交通安全教室 >

地域安全課の方が、子どもたちと保護者に交通安全教室を実施してくれました。手遊びや視覚教材を使って楽しく交通ルールを教えてくれたり、保護者に向けて道路交通法や自転車事故の事例などの話を聞かせてくれたりしました。親子での実技訓練を通じて交通安全への意識も高めていきたいです。



### < 防犯教室 >

小田原警察OBのスクールボランティアの方が、防犯教室を実施してくれました。保護者には、親としての心構えや身を守るための“護身術”を、子どもたちには、“覚えておきたい4つの約束”とさまざまな場面での自分の身を守るための行動について、ロールプレイをして学びました。



## 飼育・栽培を通して



### < 年長栽培・空芯菜・トウモロコシ >

年長児は、トウモロコシをポットで育て、畑に植え替えをしたり、空芯菜の種を植えたりしています。どんな野菜を育てたいか子どもたちと話し合い、昨年の年長さんが栽培していたことを覚えていたことで、その2点に決まりました。空芯菜は、あまり馴染みのない野菜ですが、生長も早く、臭いもない野菜なので、「油で炒めて食べると美味しい！」と保護者の皆様から絶賛でした。

### < 年少栽培・夏野菜 >

年少児は、ミニトマト、キュウリ、ピーマンの苗を畑に植えました。苗をそっと土の中に入れてその上に「土の布団をかけてあげようね！」と話す、とても丁寧に扱う姿がありました。毎日水やりをして生長を見守り初めて自分で育てた野菜を収穫し、食べた感想を聞いてみると「僕のキュウリ、美味しかった！」ととても満足そうな笑顔で話してくれました。

### < イネ >

北村さんが、田植えの時期にイネを持ってきてくれました。いただいたイネを観察し、「育ててみよう！」と年長児がバケツに土と水を入れ、イネを植えて栽培を始めました。水が少なくなったら補充します。すくすくと育っているイネの生長を視覚化しようと1か月ごとに背丈をマークしています。どれだけ伸びるか楽しみです。



### < チョウチョの羽化 >

年長児が、昨年自分たちが栽培したキャベツを収穫後、外葉をそのままにしておくと、葉に何やら動く小さな虫が！「あっ！アオムシだ〜！」「あれ？ここには小さな黄色い粒がある！」「これは何だろう？」「そうだ！図鑑で調べてみよう！」と調べ始めました。「これはアオムシだよ！黄色いのは卵だ！」と大発見を喜び自慢気に話す子どもたち。「飼育ケースに入れて育てよう！」と話はすぐにまとまりました。毎日アオムシを観察し、役割を決めて世話をしていると少しずつ大きくなっていくアオムシに愛着を感じ「こんなに大きくなった〜！」と嬉しそうにしている姿がありました。アオムシから蛹になる過程を観察し、いよいよ蛹からチョウチョに羽化した姿を見て、全員で拍手喝采！生き物の不思議や神秘さを実体験しました。「家の人にも見せてあげたい！」と行事で園に来ていた保護者と、チョウチョが飼育ケースから飛び立つ姿を見ることができました。可愛がって育てたアオムシがチョウチョになって飛び立つ感動的な瞬間を皆で共有することができ、アオムシの飼育を通して多くの学びがありました。

### < カブトムシの羽化 >

昨年、年長児が世話をしていたカブトムシが卵を産み、幼虫を育てることを引き継いだ、今年の年長児。毎日霧吹きで飼育ケースの腐葉土に水分を与えていると、側面に幼虫が現れ、そのうちに部屋をつくり始めました。色が白から茶色(蛹)になっていくとそのうち部屋が崩れ、土の中に見えなくなったある日。いつものように当番がケースの蓋を開けると、「うわ！！」と驚いた声。「カブトムシが出て来た！」と慌てて皆に報告に。ケースの周りに大集合「本当だ！生まれた！今日がカブトムシの誕生日だ！おめでとう！」と大喜び。年間を通した飼育活動から多くのことを学びました。



### 保護者の皆様へ

保護者の皆様のご理解とご協力のお陰で、無事に第1学期の終わりを迎えられました。職員一同心より感謝申し上げます。いよいよ明日から夏休みに入ります。今年は例年のような長いお休みになります。新型コロナウイルス感染症の感染予防に十分配慮しながら、この期間にしかできない様々な経験を親子で楽しんでください。第1学期に身に付けた基本的な生活習慣を大切に、健康で安全な毎日をお過ごしください。夏休み明けに、元気な姿に会えることを職員一同楽しみにしています。

